

バウンス検証が ESA でバウンスを拒否しないようにするにはどうしますか。

目次

[はじめに](#)

[バウンス検証が ESA でバウンスを拒否しないようにするにはどうしますか。](#)

概要

この資料に ESA のバウンスの拒否からバウンス確認を停止する方法を記述されています。

バウンス検証が ESA でバウンスを拒否しないようにするにはどうしますか。

バウンスの拒否からアプライアンスを停止する最も簡単な方法はデフォルトの動作をグローバルに変更することです。

1. メール ポリシーの下->バウンス確認 > Edit 設定。
2. 操作を時カスタム ヘッダーを付加し、渡すためにリジェクトから届く無効なバウンス メッセージ変更して下さい。
3. 顧客ヘッダの名前、および内容を追加して下さい。
4. 変更を送信し、確定します。

LDAP クエリを使用している場合、宛先制御およびメール フロー ポリシーでそれをディセーブルにすることによってバウンス確認を無効にする必要があります。

1. メール ポリシー > 宛先制御の下で、バウンス確認をイネーブルになってもらうポリシーかデフォルトポリシーを選択して下さい。
2. 設定する実行アドレス タギングをにいいえ変更して下さい
3. メール ポリシー > メール フロー ポリシーの下で、セットはタグが付いていないバウンスを受け入れるか、またはメール フロー ポリシーすべてのための YES にタグが付いていないバウンスを評価します。
4. 変更を送信し、確定します。